

■ SAGA サンライズパーク整備について

6月15日午後1:00～2:00

佐賀県地域交流部SAGA2024・SSP推進局SAGAサンライズパーク整備推進課

整備担当係長(電気) **東 啓一郎氏**
 整備担当係長(建築) **市丸 雄基氏**



【略歴】東 啓一郎 (写真⑥)

2002年4月電気技師として佐賀県庁入庁。消防防災課、建築住宅課、佐賀空港事務所、原子力安全対策課、新エネルギー産業課を経て、2017年7月に総合運動場等整備推進室(現:SAGAサンライズパーク整備推進課)が設置された時からSAGAサンライズパークの整備に関わる。

【略歴】市丸 雄基 (写真⑥)

2003年4月建築技師として佐賀県庁入庁。建築住宅課、総務法制課、東部土木事務所を経て、2017年7月に総合運動場等整備推進室(現:SAGAサンライズパーク整備推進課)が設置された時からSAGAサンライズパークの整備に関わる。

佐賀県では、2024年のSAGA2024国スポ・全障スポ開催を契機として、「SAGAサンライズパーク」の整備を行っています。

これまでに様々な施設の整備を進めてきており、2021年10月23日には、50m国際基準競泳プールなどを備えた水泳場「SAGAアクア」がオープンしました。また、2022年5月28日には、SAGA2024の総合開会式が行われる日本陸連第1種公認陸上競技場「SAGAスタジアム」がリニューアルオープンしました。

現在は、約8,400席の観客席を備えた九州最大級の多目的アリーナである「SAGAアリーナ」や、県産材を使用したウッドデッキのオープンテラスで飲食などを楽しむことができる「パークテラス」、パーク内の施設や佐賀市文化会館を繋ぐ遊歩道(ペDESTリアンデッキ)の工事、外構工

事や周辺道路等の整備などを進めており、いよいよ、来年春にグランドオープンを迎えます。

SAGAサンライズパークは、ここから新たなまちづくりやライフスタイルが始まり、佐賀を光り輝かせていくという想いを込めて、「日の出」という地名にちなんで名付けました。

スポーツを「する」楽しみ、「支える」喜び、さらに「観る」感動など、それぞれのスタイルでスポーツを楽しむことができ、また、スポーツだけでなく、コンベンション、文化芸術、産業、国際交流など様々なシーンを実現することで、宿泊、観光、飲食などへの波及効果を生み出し、佐賀の未来を切り拓く「さが躍動」の象徴的なエリアにしたいと考えています。

本講演では、本整備事業の概要、主要施設の特長などを紹介します。

■九州地方整備局におけるインフラDXの取り組み

6月16日午後1:00～2:00

国土交通省九州地方整備局企画部 インフラDX推進室係長 **猪井 知明氏**



【略歴】 2003年九州工業大学大学院卒。同年国土交通省九州地方整備局佐伯河川国道事務所(大分県)に採用。その後、主に道路関係の事務所等(福岡県内、長崎県内)を経て、2016年4月から2019年3月まで同佐賀国道事務所交通対策課に所属し、2021年4月から現職。

九州地方整備局ではインフラ分野のDXを推進するにあたり、推進体制の強化を図るため、令和3年4月1日に企画部長をトップとするインフラDX推進センター及び建設情報・施工高度化技術調整官をトップとするインフラDX推進室を設置しました。

令和3年4月よりインフラ分野におけるデジタル技術の建設現場での活用について、生産性向上や働き方を変革することに寄与する技術開発や現場実装に向けた検証などに取り組んできましたが、今回はそれらのうち2つの取り組みについて紹介します。

1つ目は、上空からドローンや360°カメラを用いて現地を死角なく全方位確認することが出来る360°画像を用いて、複数の360°画像をリンクで繋ぐことで、広範

囲の現地の状況を網羅的に把握することが出来る「スカイバーチャルツアーの活用」の取り組みについて紹介します。

2つ目は、ゲームエンジンを用いて3次元の仮想空間上に河川の整備後の姿を構築し、実際に整備後の現地に入り込んだように仮想空間を体験することで、整備計画の地元関係者の皆様などとの合意形成に「メタバース(仮想現実)」を活用した取り組みについて紹介します。

今回紹介する取り組みについては、九州地方整備局が取り組んでいる技術の一部であり、スマートフォンを用いた点群計測やクラウドを用いた点群処理・共有等の技術なども紹介し、講演をご覧になれる方に幅広く活用していただきたいと思います。

アクセス

会場

ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア
 佐賀市新築東3丁目7-8 TEL 0952-23-0111 FAX 0952-26-5160

【車】佐賀・大和ICより車で約20分/佐賀空港より車で約30分/駐車場250台収容可能
 【バス】佐賀駅バスセンター(2番のりば)より約10分【58】クレオパーク鍋島行・新築小学校前下車

時間

両日とも
10:00～16:00

第2駐車場 ⇄ 会場 第2駐車場→会場 9:30～15:00 (30分間隔) 会場→第2駐車場 10:30～16:00 (30分間隔)
 両日ともシャトルバス運行予定 ※会場駐車場には限りがありますのでなるべく第2駐車場をご利用ください。会場までは第2駐車場から徒歩約8分。私道は乗り入れ不可。

【第2駐車場】

【主催】 公益財団法人佐賀県建設技術支援機構

【共催】 佐賀県、佐賀大学、(一社)佐賀県土づくりコンサルタンツ協会、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県建築士会、NPO法人技術交流フォーラム

【後援】 国土交通省九州地方整備局、佐賀県教育委員会、佐賀市、(一社)佐賀県地質調査業協会、佐賀県土木施工管理技士会、(一社)佐賀県建築士事務所協会、低平地研究会、(公社)土木学会西部支部、(公社)地盤工学会九州支部、(公社)日本技術士会九州本部、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部、NHK佐賀放送局、サガテレビ、佐賀新聞社、建設新聞社

公益財団法人佐賀県建設技術支援機構 〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田912番地 TEL0952-97-5596